

## 1 健やかな暮らしのサポート

## 【現状、課題と取組の方向性】

高齢社会にあつて、健康寿命を延ばす健康管理や予防医学が重視されるとともに、県民のだれもが、地域で安心して暮らしていくために、いつでも、どこでも、保健・医療・福祉サービスの提供を受けられるような環境づくりが望まれています。

医療技術の進歩に伴い、高度で先進的な医療や投薬治療が可能となっている一方で、地域によっては医療従事者の不足等により十分なサービスが受けられないという現状もあります。こうした問題の解消のため、一部の地域ではICTを活用した画像診断など遠隔地医療の取組も始まり、民間企業等の創意工夫による低コストなヘルスケアサービスの普及も試みられていますが、一般的な認知度や普及率が高いとまでは言いきれないのも現状であり、今後の発展が期待されています。

県では、これまでに「周産期医療情報システム」や「救急医療情報システム」を導入し、関係機関のネットワーク化や情報共有を進めることにより、搬送時間の短縮化や効率化の促進に取り組んできました。また、保健・医療・福祉関連情報について、ウェブサイト等で情報提供することにより、県民の不安の解消や健やかな生活のサポートに努めてきました。

今回の震災では、想定を上回る大津波により医療機関のカルテ等医療情報が消失したことで、被災者の医療活動にも大きな支障が生じました。このことを教訓として、県内の誰もが・どこでも安心して医療を受けられる地域医療体制の構築のため、被災地域における医療情報の電子化・バックアップ体制の確立、地域医療情報連携の構築、日常生活圏域包括ケアの実現を図ることを目的とした「災害に強い地域医療情報連携基盤」を整備するなど、ICTを活用した連携強化が着実に進められつつあります。

本県では、保健医療福祉分野における全国的な情報基盤の整備動向やICTの進展による一層の高度化の状況を見守りながら、利用者により高い満足が得られるサービス提供ができる体制整備を推進していきます。

分野	4	保健・医療・福祉	項目	1	健やかなくらしのサポート
----	---	----------	----	---	--------------

1 みやぎ医療福祉情報ネットワーク構築事業

目的・概要

性質・手法

その他

医療従事者の不足が懸念される中、切れ目のない医療の提供体制を推進するため、ICTを活用した地域医療連携システムを構築することにより、病院、診療所、福祉施設、在宅介護事業者等の連携強化・情報共有を図り、子どもから高齢者までだれもが、県内どこでも安心して医療が受けられる体制を構築します。

重点目標

安全・安心なくらし 快適・便利なくらし 活力ある豊かな地域  
 情報活用力の向上 行政運営の高度化

主体

一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

関連URL

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/iryuu/ict-index.html>

スケジュール

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	県全域拡張		
継続	→		

指標

みやぎ医療福祉情報ネットワーク接続医療機関数

現状値(26年7月末)	330施設	目標値(28年度末)	2,000施設
-------------	-------	------------	---------

担当

保健福祉部 医療整備課

参考

宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画

みやぎ医療福祉情報ネットワークの構築

各医療圏におけるシステムは、「医療・介護・福祉のシームレスな情報連携」と「職種を越えた情報共有による真の地域包括ケアの実現」を目指したシステムです。



分野	4	保健・医療・福祉	項目	1	健やかなくらしのサポート
----	---	----------	----	---	--------------

## 2 周産期医療情報システムの運用

目的・概要
性質・手法
システム
情報発信

県内の主要な周産期医療施設間の情報ネットワークを構築し、消防本部や医療機関に空床等の医療情報を提供するとともに、周産期救急患者の搬送先の検索などが可能な情報システムを運用しています。

**重点目標**

安全・安心なくらし  
 快適・便利なくらし  
 活力ある豊かな地域

情報活用力の向上  
 行政運営の高度化

**主体** 県

**関連URL** <https://nicu.mmic.or.jp/>

スケジュール	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	運用		
再構築	→		

**指標** 周産期医療情報システム登録医療機関数

現状値(25年12月末)	61件	目標値(28年度末)	61件
--------------	-----	------------	-----

**担当** 保健福祉部 医療整備課

**参考** 宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画

## 3 救急医療情報システムの運用

目的・概要
性質・手法
システム
情報発信

インターネット化した救急情報システムの活用により、医療機関及び消防本部に提供する情報のリアルタイム化や提供情報を充実させることで、救急搬送時間の短縮などを図ります。また、携帯電話から災害情報入力を可能とする機能の提供により、被災時の情報共有の円滑化も図っています。

**重点目標**

安全・安心なくらし  
 快適・便利なくらし  
 活力ある豊かな地域

情報活用力の向上  
 行政運営の高度化

**主体** 県

**関連URL** <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/iryuu/tiiki03.html>

スケジュール	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	運用		
継続	→		

**指標** 病院収容時間

現状値(25年12月末)	40.9分	目標値(28年度末)	平成27年全国平均
--------------	-------	------------	-----------

**担当** 保健福祉部 医療整備課

**参考** 宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画

分野	4	保健・医療・福祉
----	---	----------


情報発信サイト等

**がん情報みやぎ** **ウェブ**

病院・相談支援センター・患者会等のがん情報や身近なかかりつけ医についての情報を検索でき、基礎知識、診断・治療方法、体験記等も紹介しています。

**URL** <http://cancer-miyagi.jp/>

**担当** 保健福祉部 疾病・感染症対策室

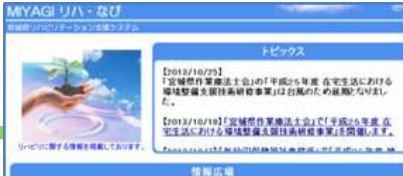


**MIYAGI リハ・なび** **ウェブ**

リハビリテーションに関する理解を深め、適切なサービスを利用できるようになるため、提供施設や関連情報を集約し、提供しています。

**URL** <http://www.pref.miyagi.jp/site/rehnavi/>

**担当** 保健福祉部 障害福祉課

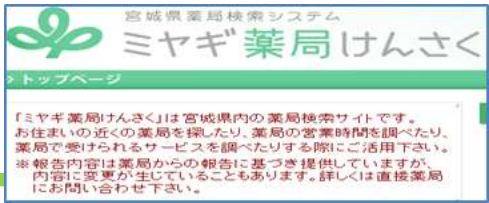


**ミヤギ薬局けんさく** **ウェブ**

薬局の適切な選択を支援するため、薬局開設者から報告された情報にもとづき、各薬局の機能に関する情報を公表しています。

**URL** <http://www.miyagi-kusuri.jp/>

**担当** 保健福祉部 薬務課




**すくすくタウン宮城** **ウェブ**

県内の子育て関連情報を網羅するサイトにより、妊婦・育児中の親・子育て支援者・企業などに必要な情報を集約して提供しています。

(H26.8.31サービス終了)

**URL** <http://sukumiya.jp/>  
(終了後) <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kosodate/>

**担当** 保健福祉部 子育て支援課



## 2 誰もが住みよい地域社会の構築

### 【現状、課題と取組の方向性】

幸福や豊かさを意味する言葉「福祉」は、すべての人々の暮らしを支える重要な制度であり、人の手が直接人の暮らしを支えてきた福祉の分野にICTが活かされてこそ、その真価が問われるとも言えます。少子化が深刻な高齢社会にあつて、従来の家族内の支え合いによる自助機能が弱体化してきている現在、各方面で医療・介護等のサービスロボット、位置情報システム、人感センサー、音声・画像認識といった、高齢者、児童、障害者等を見守り支える新しい技術の研究開発が進められ、私たちの生活にも取り入れられ始めているところです。

また、インターネットによる情報収集・情報発信が広く普及している現在にあつては、利用方法が解らない人々は「情報弱者」になってしまう懸念がありますが、福祉制度の支援が必要な人々は、その傾向が強まってしまふとも言えます。一方で、日常生活に支援が必要であっても、ICTツールによるサポートやICT活用スキルの向上によって行動範囲を広げ、積極的に社会参加ができたり、システムエンジニアやプログラマーはじめ一般事務への就労に結びつくケースも期待されます。

本県では、障害者やひとり親家庭の父母等について積極的に講習受講の機会を提供し、就労支援や社会参加促進の取組を進めています。

また、震災は多くの県内外避難生活者や地域からの人口流出を生み、現在も仮設住宅に居住する方々等は不自由な暮らしを余儀なくされています。避難生活の長期化から来る従来の地域コミュニティ存続・維持への影響や被災者の生活不活発病も懸念されています。そのような中、県内の市町では、仮設住宅の居住者が安心して暮せるよう、地域の見守りや生活・健康相談等を行うためにサポートセンターを設置し、被災者の暮らしに寄り添う共助のしくみづくりに努めています。

さらに、市町村の中には、単身高齢の方々の生活の安全を確保するため、応急仮設住宅等（プレハブ住宅等）に居住する単身高齢者等の暮らしをセンサーや通報システムなどICTを活用して見守る取組も広がったところです。

本県では、応急仮設住宅（民間賃貸住宅）の供給業務を円滑に行うため管理システムを導入したり、市町のサポートセンターを支援する宮城県サポートセンター支援事務所を開設するなどして、被災者をはじめとする県民の生活支援を進めていきます。


分野	4	保健・医療・福祉	項目	2	誰もが住みよい地域社会の構築
----	---	----------	----	---	----------------

1	<b>みやぎ障害者ITサポートセンターの運営</b>												
<b>目的・概要</b>	<p>IT利用に関する相談支援、情報提供を実施するとともに、障害児者を対象としたパソコン研修会等を実施することにより、障害者のITの利用機会の拡大や技術取得を促進することで、ITを活用した障害者の社会参加やITリテラシーを身に着けた障害者の就労等を支援します。</p>												
<b>性質・手法</b>	その他												
<b>重点目標</b>	<p>安全・安心なくらし 快適・便利なくらし 活力ある豊かな地域</p> <p>情報活用力の向上 行政運営の最適化</p>												
<b>主体</b>	県												
<b>関連URL</b>	<a href="http://www.tpminc.co.jp/it/INDEX/index.html">http://www.tpminc.co.jp/it/INDEX/index.html</a>												
<b>スケジュール</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～H25</td> <td>運営</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>継続</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→</td> </tr> </tbody> </table>		H26	H27	H28	～H25	運営			継続	→		
	H26	H27	H28										
～H25	運営												
継続	→												
<b>指標</b>	<p>講座・講習等の受講人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値(25年度)</th> <th>130人</th> <th>目標値(28年度末)</th> <th>170人</th> </tr> </thead> </table>	現状値(25年度)	130人	目標値(28年度末)	170人								
現状値(25年度)	130人	目標値(28年度末)	170人										
<b>担当</b>	保健福祉部 障害福祉課												
<b>参考</b>	宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画												


2	<b>宮城県聴覚障害者支援センター（仮称） 及びみやぎ被災聴覚障害者情報支援センターの運営</b>												
<b>目的・概要</b>	<p>聴覚障害者の生活に関する困りごと、悩み、不安などの相談対応、出前講座等を通じた聴覚障害者が地域に支えられる体制を構築するための事業のほか、生活に関連する情報の字幕付き手話動画を作成・配信したり、情報誌を発行するなどしています。</p> <p>※宮城県聴覚障害者支援センター（仮称）は、平成26年度中に開設し、みやぎ被災聴覚障害者情報支援センターが行っている情報発信事業を引き継ぎます。</p>												
<b>性質・手法</b>	情報発信												
<b>重点目標</b>	<p>安全・安心なくらし 快適・便利なくらし 活力ある豊かな地域</p> <p>情報活用力の向上 行政運営の最適化</p>												
<b>主体</b>	県、東日本大震災聴覚障害者救援宮城本部（県事業受託者） 等												
<b>関連URL</b>	<a href="http://www.mimisuppo-miyagi.org/">http://www.mimisuppo-miyagi.org/</a>												
<b>スケジュール</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～H25</td> <td>運営</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>継続</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→</td> </tr> </tbody> </table>		H26	H27	H28	～H25	運営			継続	→		
	H26	H27	H28										
～H25	運営												
継続	→												
<b>担当</b>	保健福祉部 障害福祉課												
<b>参考</b>	宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画												

分野	4	保健・医療・福祉	項目	2	誰もが住みよい地域社会の構築
----	---	----------	----	---	----------------

3 ひとり親家庭等就業支援講習会の実施

<b>目的・概要</b>	<b>性質・手法</b>	<b>その他</b>	
ひとり親家庭の父母等の就業機会の増大と自立促進を図るため、就職等に必要なパソコンの知識技能が習得できるよう、マイクロソフトエクセル・ワードのスペシャリストレベルの修了をめざすなどの講習会を実施しています。			
<b>重点目標</b>	安全・安心なくらし	快適・便利なくらし	
	活力ある豊かな地域	情報活用力の向上	
		行政運営の最適化	
<b>主体</b>	県、公益財団法人宮城県母子福祉連合会（宮城県母子福祉センター指定管理者）		
<b>関連URL</b>	<a href="http://www.h2.dion.ne.jp/~mivagi-b/">http://www.h2.dion.ne.jp/~mivagi-b/</a>		
<b>スケジュール</b>	H 2 6	H 2 7	
～H 2 5	実施		
継続			
<b>指標</b>	I T 関連講座，I T 講習会等受講者数		
	現状値(25年度)	22人	目標値(28年度末)
			40人
<b>担当</b>	保健福祉部 子育て支援課		
<b>参考</b>	宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画		

4 民間賃貸住宅借上げシステムの運用

<b>目的・概要</b>	<b>性質・手法</b>	<b>システム</b>
応急仮設住宅（民間賃貸住宅借上げ）の契約・支払・問合せ対応等を適切に行うため、システムを活用して約25,000件の契約情報の管理や支払データの作成を実施しています。		
<b>重点目標</b>	安全・安心なくらし	快適・便利なくらし
	活力ある豊かな地域	情報活用力の向上
		行政運営の最適化
<b>主体</b>	県	
<b>関連URL</b>	<a href="http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/minchin-s.html">http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/minchin-s.html</a>	
<b>スケジュール</b>	H 2 6	H 2 7
～H 2 5	運用	
継続		
<b>担当</b>	保健福祉部 震災援護室	
<b>参考</b>	宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画	